



有佐小だより

令和3年 8月26日

第5号

文責 岩見 浩史

心のアクセルとブレーキ

8月25日(水)、いよいよ2学期がスタートしました。今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置のため不要不急の外出の自粛が求められたり、季節外れの長雨・大雨が続いたり、子どもたちもなかなか外で思いっきり遊んだり、様々な経験・体験を積んだりすることができなかつたかもしれません。その分、オリンピック期間中にはテレビで選手を応援した子どもが多かつたのではないのでしょうか。

1学期の終業式の時に、校長から水泳の「池江 璃花子」選手について話をしました。池江選手が高校生の時にはリオ・オリンピックに出場し、東京オリンピックではメダルを期待される選手だったこと、突然白血病を発症し苦しい闘病の末に練習を再開できるようになったこと、仲間の支えとすさまじい努力で東京オリンピック代表に選ばれたことなどを話しました。そして、「オリンピックを応援しながら『挑戦すること』『努力すること』『一生懸命』のすばらしさや大切さを学んでほしい」と結びました。昨日、パラリンピックも始まりました。画面越しですが、全力を尽くす選手の姿から、子どもたちにも何か感じ取ってほしいと願っています。ご家族も一緒に観戦しながら、子どもたちの夢や希望につながる声かけをしていただければと思います。

さて、昨日の始業式は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで行いました。校長からは、次のような話をしました。

- アクセルとブレーキの使い方を間違えると、交通事故になってしまう。正しく使うことが大切。
- 人の心にもアクセルとブレーキがある。
- 「心のアクセル」は「よ～し、がんばるぞ」とか、「よいことを進んでやろう」とか、「自信がないけど勇気を出してやってみよう」など、自分を励ます気持ち。
- 「心のブレーキ」は「やっちはいけないことは、やりたくなくてもしない」という気持ち。
- 心のアクセルとブレーキの正しい使い方が上手になるようにがんばっていきこう。

「高い意欲」「自主性」「勇気」「我慢」などは、自らの行動を律しよりよく生きていくために大切な力です。自分をコントロールする力が弱いと、欲に流されてやるべきことができなかつたり、ちょっとした壁を乗り越えられなかつたりするでしょう。自分をコントロールする力が強ければ、困難なことにも立ち向かい、努力を重ねて壁を乗り越えていくことができるでしょう。学校でも「心のアクセルとブレーキ」という言葉で、子どもたちに自分の行動を振り返らせ、自らを律することを指導していきますが、ぜひご家庭でも、子どもたちが自分をコントロールする力を高めていくようご指導をお願いいたします。



感染防止対策強化!

新型コロナウイルスのため、2学期が始まることについて不安を感じておられる方もいらっしゃるでしょう。学校では、検温や消毒の回数を増やしたり、学習活動や給食時の防止策を見直したり、対策の強化を行ってまいります。ご家庭でも登校前の検温や健康観察の徹底をお願いいたします。